

令和7年度 フラール高の原 多機能型(児童発達支援・放課後等デイサービス)事業所 自己評価

		チェック項目	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				曜日、利用時間帯により訓練室が足りないことがあり個別指導とグループ指導を絡めながら工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか				○	基準人員のみなので人員確保は必要と感じています。
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○			毎訓練後の消毒の徹底、おもちゃの整理等今後も努めます。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○			職員間で振り返りながら業務を適切にすすめる努力をしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者様から頂いた貴重なご意見をもとにスタッフ一同改善に努めます。
	6	評価結果を業務改善につなげているか	○				真摯に受け止め、改善に努めます。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○			個々の資質向上を目指します。研修場所がフラール高で行うことが多いので往來の時間を確保しにくい点を改善します。
適切 な 支 援 の 提 供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画を作成しているか	○				検査結果および普段の様子を踏まえ分析を行っています。
	9	支援計画には、児童発達支援または放デイのガイドラインに示す内容かつ具体的な支援内容が設定されているか	○				一人ひとり到達目標を考えながら、達成できる内容を設定しています。
	10	個別支援計画に沿った支援が行われているか	○				到達できることを常に目指しすすめていきたいと思ひます。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				お子様のニーズや成長に応じて対応しています。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	○				個別指導が主ですが、集団指導も取り入れております。
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				毎回療育記録を作成し次回の支援へと繋げています。複数名で担当している場合は、情報を共有し次回がスムーズに行えるよう気を付けています。
	14	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				事業所内でのモニタリングをこまめに行い、個別支援計画にも反映させています。教育機関の先生方とも情報共有しております。
	15	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				担当制での療育・訓練を行っているため、会議等の参加は担当者が主に行っています。
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	16	園や学校との情報共有を適切に行っているか	○				電話や来所頂くことが多く情報共有を行っています。
	17	運営規程、支援の内容、利用者負担等について説明を行っているか	○				引き続き丁寧にお伝えいたします。
	18	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				ご相談に応じております。
	19	保護者様からのご要望について、対応の体制を整備するとともに迅速かつ適切に対応しているか	○				経験年数の違いによりご対応が変わらないよう質の向上に努めます。
	20	活動概要、予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○			行事があるときには早めにご連絡するように致します。
非常 時 等 の 対 応	21	個人情報に十分注意しているか	○				個人情報保護法に則り管理運営を行っております。保管庫も施錠できるものとなっており、今後も遵守いたします。
	22	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			保護者様に周知が行き届かない点あったかと思ひます。不安がないようお伝えしていきます。
	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				定期的に火災と地震の災害訓練の研修をおこない避難経路を確認しています。
	24	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				共有し、次に同じことが起こらないよう共有しています。

○ この事業所における自己評価結果(公表)は、事業所全体で行った自己評価です。

令和7年度 フラール奈良 多機能型(児童発達支援・放課後等デイサービス)事業所 自己評価

		チェック項目	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○			曜日、利用時間帯により訓練室が足りないことがあり個別指導とグループ指導を絡めながら工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか		○			基準人員にプラス1名ずつ配置しておりますが、理学・作業療法士が少ないため人員確保は必要と感じています。
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○			毎訓練後の消毒の徹底、おもちゃの整理等今後も努めます。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○			職員間で振り返りながら業務を適切にすすめる努力をしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○			保護者様から頂いた貴重なご意見をもとにスタッフ一同改善に努めます。
	6	評価結果を業務改善につなげているか		○			真摯に受け止め、改善に努めます。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○			法人グループ内での研修機会を設け、個々の資質向上を目指します。
適切 な支 援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画を作成しているか		○			検査結果および普段の様子を踏まえ分析を行っています。
	9	支援計画には、児童発達支援または放デイのガイドラインに示す内容かつ具体的な支援内容が設定されているか		○			一人ひとり到達目標を考えながら、達成できる内容を設定しています。
	10	個別支援計画に沿った支援が行われているか	○				到達できることを常に目指しすすめていきたいと思えます。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○			お客様のニーズや成長に応じて対応しています。しかし経験年数により工夫できる差がある場合、フォローできる体制を整えます。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか		○			個別指導が主ですが、集団指導も取り入れております。
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				毎回療育記録を作成し次回の支援へと繋げています。複数名で担当している場合は、情報を共有し次回がスムーズに行えるよう気を付けています。
	14	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				事業所内でのモニタリングをこまめに行い、個別支援計画にも反映させています。教育機関の先生方とも情報共有しております。
15	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				担当制での療育・訓練を行っているため、会議等の参加は担当者が主に行っています。	
関係 機関 や保 護者 との 連携	16	園や学校との情報共有を適切に行っているか		○			電話や来所頂くことが多く情報共有を行っています。
	17	運営規程、支援の内容、利用者負担等について説明を行っているか		○			利用者負担額について口頭ではわかりにくい点があり、10月以降ですが、契約時に別紙作成しご説明させていただいております。
	18	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○			ご相談に応じております。しかし、機会が足りない方もいらっしゃるため改善に努めます。
	19	保護者様からのご要望について、対応の体制を整備するとともに迅速かつ適切に対応しているか		○			経験年数の違いによりご対応が変わらないよう質の向上に努めます。
	20	活動概要、予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○			廊下にある掲示板も活用していますが、行事があるときには早めにご連絡するように致します。
非常 時等 の対 応	21	個人情報に十分注意しているか	○				個人情報保護法に則り管理運営を行っています。保管庫も施錠できるものとなり、今後も遵守いたします。
	22	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			保護者様に周知が行き届かない点あったかと思えます。不安がないようお伝えしていきます。
	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○			火災と地震の災害訓練の研修をおこない避難経路を確認しています。
	24	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			共有し、次に同じことが起こらないよう共有しています。

○ この事業所における自己評価結果(公表)は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名【フラーテル高の原】多機能型(児童発達支援・放課後等デイサービス)

令和7年度 保護者等向け 事業所評価アンケート

保護者等数(児童数)34 回答数 29 回収率 85.2%

	回答数(総計47)						総計
	はい	%	いいえ	%	どちらとも言えない(わからない)	%	
環境・体制整備							
①お子さまの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか	28	96.6	0	0	1	3.4	29
②職員の人数や専門性は適切だと思いますか	27	93.1	0	0	2	6.9	29
③施設は清潔で心地よく過ごせる環境になっていると思いますか	29	100	0	0	0	0	29
適切な支援の提供							
④お子さまと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されていると思いますか	29	100.0	0	0.0	0	0.0	29
⑤個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか	28	96.6	1	0.0	3	1.0	29
⑥支援内容は工夫されていると思いますか	28	96.6	0	0	1	3.4	29
保護者等への説明等							
⑦運営規程、利用者負担等について適切な説明を受けましたか	28	97	0	0	1	3	29
⑧個別支援計画を示しながら、内容の説明がなされましたか	27	93	0	0	2	7	29
⑨日頃からお子さまの状況を共有し、発達の状況や課題について共通認識が形成されていると思いますか	28	96.6	0	0.0	1	3.4	29
⑩保護者等に対して面談や訓練内容の報告等行われていると思いますか	28	96.6	0	0	1	3.4	29
⑪質問等に対する説明は適切と思われますか	29	100.0	0	0	0	0.0	29
非常時の備え							
⑫緊急時対応について保護者に周知・説明されていると思いますか (どちらともいえないの回答は、緊急時がなかったためわからないも含む)	14	48.3	1	3	14	48.3	29
満足度							
⑬お子さまは通所を楽しみにしていますか	26	89.7	1	3.4	2	6.9	29
⑭事業所の支援に満足していますか	24	82.8	0	0	5	17.2	29

●ご意見を踏まえた対応

スタッフへのありがたいお言葉、ありがとうございます。頂いたお言葉を継続できるよう支援に努めます。ご意見いただきました「回数をもう少し増やしたい」という件について、お子様の発達状況に応じて沢山通っていただきたいと考えており、今後も検討課題とさせていただきます。今後ともフラーテルをどうぞよろしくお願い致します。

事業所名【フラーテル奈良】多機能型(児童発達支援・放課後等デイサービス)

令和7年度 保護者等向け 事業所評価アンケート

保護者等数(児童数)247 回答数 235 回収率 95.1%

	回答数(総計235)						総計
	はい	%	いいえ	%	どちらとも言えない(わからない)	%	
環境・体制整備							
①お子さまの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか	229	97.4	1	0.4	5	2.1	235
②職員の人数や専門性は適切だと思えますか	222	94.5	1	0.4	12	5.1	235
③施設は清潔で心地よく過ごせる環境になっていると思えますか	233	99.1	0	0.0	2	0.9	235
適切な支援の提供							
④お子さまと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されていると思えますか	226	96.2	0	0.0	9	3.8	235
⑤個別支援計画に沿った支援が行われていると思えますか	226	96.2	1	0.4	8	3.4	235
⑥支援内容は工夫されていると思えますか	226	96.2	1	0.4	8	3.4	235
保護者等への説明等							
⑦運営規程、利用者負担等について適切な説明を受けましたか	227	96.6	0	0.0	8	3.4	235
⑧個別支援計画を示しながら、内容の説明がなされましたか	234	99.6	0	0.0	1	0.4	235
⑨日頃からお子さまの状況を共有し、発達の状況や課題について共通認識が形成されていると思えますか	222	94.5	2	0.9	11	4.7	235
⑩保護者等に対して面談や訓練内容の報告等行われていると思えますか	230	97.9	0	0.0	5	2.1	235
⑪質問等に対する説明は適切と思われるですか	224	95.3	0	0.0	11	4.7	235
非常時の備え							
⑫緊急時対応について保護者に周知・説明されていると思えますか (どちらともいえないの回答は、緊急時がなかったためわからないも含む)	98	41.7	6	2.6	131	55.7	235
満足度							
⑬お子さまは通所を楽しみにしていますか	193	82.1	1	0.4	41	17.4	235
⑭事業所の支援に満足していますか	223	94.9	2	0.9	10	4.3	235

●ご意見を踏まえた対応

スタッフへの沢山のありがたいお言葉、ありがとうございます。頂いたお言葉を継続できるよう支援に努めます。いただいたご意見に①満足はしているが、部屋数に対しておもちゃが少ないのでは?②請求書がざっくりで明細がわからない。という点に関して、おもちゃは必要分を少しずつ買い足しております。訓練に支障のないように努めます。②明細がわかる請求書を検討いたします。今後とも大切な利用時間が実りあるよう善処致します。今後ともフラーテルをどうぞよろしくお願い致します。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フラーテル高の原		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数) 29人
○従業者評価実施期間	令和8年3月23日		～ 令和8年3月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援のため、1人1人の困り感に対する療育・訓練が提供できること。またST・OTといった専門職による訓練も強みの1つと思われる。	療育・訓練時間の最後にフィードバックとして保護者様との時間を取り入れており、情報共有や連携を取り入れて今後の支援に繋げている。	必要に応じて家族支援として保護者様と指導者の2人による面談・相談時間の提供、また学校をはじめとする他機関との情報共有としての会議などに参加している。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援及び固定枠の提供により、特に小学生以上の利用者に対する希望の時間・頻度・担当が保護者様や子どもたちの求めている要望に応えにくい点はある。	25年度は指導員がフラーテル奈良と比べると少ないため、指導員の数を増やしていくことが考えられる。	次年度は指導員を増やしていくであったり、個別支援として保護者様や子どもたちのニーズにより応えられるよう善処していく。
2	スタッフの支援力、専門性のバラつき	支援内容は個別支援会議で統一できているものの、経験年数や得意分野、資格等の違いにより支援力や助言内容の差が生じているのではないかと考える。また個別支援のため担当児童以外の訓練に触れる機会が少ないため言語化する力や支援の引き出しの差が生まれているのではないかと考える。	事例共有を増やし担当者が休みの日も代理で支援ができるように体制を整えていきたいと考えています。
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フラーテル奈良			
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～	令和8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	247人	(回答者数)	235人
○従業者評価実施期間	令和8年3月23日		～	令和8年3月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数)	29人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援体制の充実。一人ひとりのニーズにあわせた ＜個別指導＞および多彩な支援内容	子どものできる力を引き出すため、個別指導をメインに実施しています。アセスメントをもとに、それぞれのお子様の特性に応じた発達・学習支援を行っています。とりわけ集中できる身体の育成、ビジョン、コミュニケーションの発達支援、学習の土台となる読み書き能力の向上に注力しています。	必要に応じて集団での活動を促し、日常生活、園、学校で活かせる力を育成していきます。 母体は、医療・福祉を担うスペシャリストを養成しており、当施設においても最新の情報を取り入れながら運営していきます。
2	多職種（ST,OT,PT,保育士,教員,心理,社会福祉士等）で子どもや保護者さまへの困り感にアプローチができる。また療育期間を限定していないため、切れ目のない支援を行える。	主担当を軸に多職種でかかわっています。子どもの発達支援だけでなく、保護者さまへ療育・訓練時間の最後にはフィードバックをし子どもの様子を共有し連携をとっています。それぞれの専門的観点からアドバイスもできるのは利点です。	訓練時間内では収まらない場合、別日に相談時間を設けてお話ができる機会を設けています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	希望時間・頻度・担当者が保護者様や利用児の求めている要望に応えにくい点	完全予約制の個別支援で提供しているため、特に小学生高学年以上の利用者に対する希望の時間・頻度・担当が保護者様や利用児の求めている要望に応えにくい点がある。	スタッフは、基準人員より多めに配置しているが、これ以上、人を増やすことが困難である。しかしなるべく事前に欠席が出たときは、キャンセル待ちの方へ早くご連絡させていただき、来所していただけるようにしたいと考えています。
2	物的環境（おもちゃの数や運動療育関連、感覚遊具等）が人数に対して少ない	時間帯によりすべての教室が満室になる、おもちゃ、トランプ、iPad等が足りなくなることがある。	数を増やすことも大切であるが、使ったあとワゴンにおきっぱなしになっていることもあり、訓練後、すぐに定位置に戻すなど整理整頓に努めます。
3	スタッフの支援力、専門性のバラつき	支援内容は個別支援会議で統一できているものの、経験年数や得意分野、資格等の違いにより支援力や助言内容の差が生じているのではないかと考える。また個別支援のため担当児童以外の訓練に触れる機会が少ないため言語化する力や支援の引き出しの差が生まれているのではないかと考える。	事例共有を増やし担当者が休みの日も代理で支援ができるように体制を整えていきたいと考えています。